

平成29年度の決算概要について

1 平成29年度入院・外来実績

(1) 入院

- ・延入院患者数は118,875人となり、前年度実績(119,075人)と比べて200人減少しました。
- ・なお、一日平均入院患者数は325.7人となり、前年度実績(326.2人/日)と比べて0.5人減少しました。
- ・一方、患者一人1日あたりの診療単価は61,432円となり、前年度実績(58,678円)を上回りました。
- ・その結果、入院収益は、入院単価が上昇したことにより、前年度決算額と比べて、3億1,500万円余増加しました。

(2) 外来

- ・延外来患者数は138,769人となり、前年度実績(135,603人)と比べて3,166人増加しました。
- ・なお、外来診療日(244日/年)一日当たりの平均患者数は、568.7人となり、前年度実績(558.0人/日)と比べて10.7人増加しました。
- ・また、患者一人1日あたりの診療単価は20,038円となり、前年度実績(19,375円)を上回りました。
- ・その結果、外来収益は、外来患者数の増により、前年度決算額と比べて、1億5,300万円余増加しました。

【入院・外来実績】

区分		H29決算①	H28決算②	前年度対比	
				(①-②)	(①/②)
入院	延入院患者数(人)	118,875	119,075	▲ 200	99.8
	本院分	112,867	113,437	▲ 570	99.5
	救命C分	6,008	5,638	370	106.6
	1日平均入院患者数(人)	325.7	326.2	▲ 0.5	99.8
	本院分	309.2	310.8	▲ 1.6	99.5
	救命C分	16.5	15.4	1.1	107.1
	病床利用率(443床ベース)(%)	73.5	73.6	▲ 0.1	99.8
	本院分	74.9	75.3	▲ 0.4	99.5
	救命C分	54.9	51.5	3.4	106.6
	病床利用率(実稼働ベース)(%)	88.3	88.4	▲ 0.1	99.8
本院分	89.6	90.1	▲ 0.5	99.5	
救命C分	68.6	64.4	4.2	106.6	
	入院1日診療単価(円)	61,432	58,678	2,754	104.7
	平均在院日数(日)	11.8	12.0	▲ 0.2	98.3
外来	延外来患者数(人)	138,769	135,603	3,166	102.3
	1日平均外来患者数(人)	568.7	558.0	10.7	101.9
	外来1日診療単価(円)	20,038	19,375	663	103.4
紹介率		70.6	69.8	0.8	101.1

2 平成 29 年度収支実績

(1) 収益的収支（税抜）

ア 収益

- ・収益は 122 億 4,800 万円余で昨年度の決算額を 11 億 2,100 万円余上回りました。
- ・医業収益は、入院収益で手術料を中心に入院単価が上昇したこと等により、73 億 200 万円余と昨年度の決算額と比べて 3 億 1,500 万円余増加し、入院収益としては過去最高となりました。外来収益も、患者数及び注射料を中心とした外来単価が上昇し、27 億 8,000 万円余と昨年度の決算額と比べて 1 億 5,300 万円余増加しました。
- ・また、運営費負担金収益（営業収益）については、昨年度の決算額と比べて 6 億 8,200 万円余上回りましたが、これは、会計基準の改正により第 1 期までは資本的収入としていた起債元本償還のための繰入金を収益的収入としたこと等によるものです。

イ 費用

- ・費用は 116 億 7,900 万円余で、昨年度の決算額と比べて、1 億 1,100 万円余増加しています。これは、県に準拠した給与改定や、職員数の増等に伴い給与費（一般管理費含む）が 1 億 3,100 万円余増加したほか、材料費のうち薬品費が、抗がん剤の注射薬の取扱量が増加したこと等により 4,300 万円余増えた他、診療材料費が、手術件数の増に伴い 1 億 300 万円余り増加したことによるものです。一方で、減価償却費については、旧電子カルテシステム、CT 装置等の高額器械備品等の償却が平成 28 年度末で終了したことにより 1 億 5,700 万円余減少しております。

ウ 損益

- ・経常損益は 5 億 6,886 万円の黒字となり、平成 28 年度に比べ、10 億 900 万円余の収支改善しております。黒字決算となった最も大きな要因は、資本的収入としていた運営費負担金の営業収益化（5 億 9,300 万円余）と入院収益（入院単価）の増（3 億 1,500 万円余）によるものです。
- ・なお、純損益も 5 億 6,898 万円の黒字で、平成 28 年度に比べ、10 億 1,000 万円余収支改善しております。

(2) 資本的収支（税込）

- ・資本的収支は、10 億 1,900 万円余の赤字となりました。
- ・建設改良費による医療機器等の整備は 6 億 3,300 万円余となり、平成 28 年度の決算額と比べて、7,600 万円余の増額となりました。主な建設改良費としては、電子カルテオーダリングシステム（1 億 2,600 万円余）、放射線システム（5,500 万円余）の更新などがあります。

3 決算指標

- ・医業収益の増（+4.8%）により経常収支比率は、104.9%となりました。

（単位：％）

	H29実績 a	H28実績 b	増減（a - b）
医業収支比率	96.3	93.1	3.2
経常収支比率	104.9	96.2	8.7
給与比率（対医収）	58.0	59.4	▲ 1.4
材料比率（対医収）	26.4	26.1	0.3
経費比率（対医収）	16.2	16.6	▲ 0.4
繰入比率（対経常）	15.0	10.6	4.4

【収益的収支】（税抜）

（単位：千円）

区分	款	項	29年度決算額 A	28年度決算額 B	決算対比(A-B) C
収益	営業 収益	医業収益 ①	10,281,749	9,810,641	471,108
		うち入院収益	7,302,735	6,987,122	315,613
		うち外来収益	2,780,669	2,627,315	153,354
		運営負担金収益	1,704,570	1,022,280	682,290
		資産見返負債戻入	9,617	9,463	154
		その他営業収益	34,753	32,584	2,169
		小計 ③	12,030,689	10,874,968	1,155,721
	営業外 収益	運営負担金収益	137,855	155,299	▲ 17,444
		その他営業外収益	79,573	96,618	▲ 17,045
		小計 ④	217,428	251,917	▲ 34,489
	臨時利益 ⑦	120	0	120	
	計	12,248,237	11,126,885	1,121,352	
費用	営業 費用	医業費用	10,674,270	10,538,852	135,418
		給与費	5,632,838	5,519,975	112,863
		材料費	2,710,720	2,560,457	150,263
		うち薬品費	1,414,860	1,371,039	43,821
		うち診療材料費	1,222,065	1,118,368	103,697
		経費	1,587,718	1,558,638	29,080
		減価償却費	700,342	858,120	▲ 157,778
		資産減耗費	3,648	3,070	578
		研究研修費	39,005	38,590	415
		一般管理費	404,133	391,400	12,733
	小計 ②	11,078,403	10,930,252	148,151	
	営業外 費用	財務費用	208,206	234,767	▲ 26,561
		その他営業外費用	392,646	402,980	▲ 10,334
		小計 ⑤	600,852	637,747	▲ 36,895
	臨時損失 ⑧	0	0	0	
	計	11,679,255	11,567,999	111,256	
	【医業損益】 ①-②	▲ 796,654	▲ 1,119,611	322,957	
	【経常損益】 ⑥ (③+④)-(②+⑤)	568,862	▲ 441,114	1,009,976	
	【純損益】 ⑥+⑦-⑧	568,982	▲ 441,114	1,010,096	

【資本的収支】（税込）

（単位：千円）

区分	款	項	29年度決算額 D	28年度決算額 E	決算対比(D-E) F
収入	資本的 収入	長期借入金	604,000	307,000	297,000
		運営負担金	0	591,813	▲ 591,813
		その他収入	0	0	0
		小計	604,000	898,813	▲ 294,813
支出	資本的 支出	建設改良費	633,809	557,577	76,232
		償還金	989,888	978,558	11,330
		小計	1,623,697	1,536,135	87,562
	収支	▲ 1,019,697	▲ 637,322	▲ 382,375	